

国際交流基金助成事業報告書

薬学部 3 年次生 木下 元暉

1. はじめに

1 月 24 日から 2 月 24 日の 1 ヶ月間、カナダのバンクーバーに留学しました。ホームステイをしながら、LSI 語学学校に通いました。

2. 語学学校 (LSI)

LSI では、入学時に振り分けテストをして、その人の英語力に応じてクラスが分けられます。LSI の特徴は生徒数がそこまで多くなく授業の時も全員が発言できる環境が整っていて、先生との距離も近い学校です。そして、授業だけでなく休憩時間や放課後では友達同士で街を観光したり、ご飯を一緒に食べにいたりして過ごすことが多かったです。毎週水曜日の放課後と金曜日の昼からは学校が主催するアクティビティで色んな友達とバンクーバーの観光をすることができました。学校はバンクーバーのダウンタウンの真ん中にあり、カフェやレストランがたくさんあり、気軽に出かけることができました。また、学校の前にバンクーバー市立図書館があり放課後に勉強したり、本を無料で借りたりすることができました。学校の初日は緊張していましたがいろいろな国の人が話しかけてくれてだんだん緊張も解け、気づいたらすぐにみんなと仲良くなっていました。それぞれの国特有の英語のなまりがありますがお互い第二言語同士なので伝わらなかったら違う表現にしてみるなど工夫が必要なことが多くそれがとても楽しかったです。



アクティビティの様子



授業終わり

3. ホームステイ

中国からカナダに移住してきたホストファミリーのお家にホームステイしました。お仕事忙しい家庭でしたが、それでも自分たちのために時間を使って毎日おいしいご飯を作ってくださいました。学校の初日の日はしっかりと学校まで行けるようにバス停や電車の

国際交流基金助成事業報告書

乗り方を教えてくださって安心して学校に行くことができました。また、近くにセブンイレブンもあり、何か欲しいものがあるとすぐに買いに行くことができました。

4. 気づいたこと

ここからは、カナダに行って日本と違うなと思ったところなど紹介します。まず、カナダに着いて、車が大きい車しかなくて軽自動車がないのと車の色が白色や黒色や灰色などしかないことに驚きました。他に、薬局に行ったときにカプセル剤の大きさに驚きました。製剤の授業の時に外国ではカプセル剤の大きさが日本よりも大きいと聞いていたのですが実際見てみると本当に大きくて、自分は飲めないなと思いました。そして、カナダの薬局では、薬剤師に症状を相談して、それに合った薬を提供するというのが主流でカウンターの相談スペースに常に薬剤師が座っていて、どんどん患者さんが相談に来るといった形でした。



薬剤師の相談ブース



様々な症状に対する市販薬

5. おわりに

海外での生活が今回初めてで不安もたくさんあったのですが、周りの人からたくさん支えられ、英語を勉強というよりコミュニケーションのツールとして使うことができた1ヶ月だったと思います。また、色々な国から来ている人たちと友達になって今も連絡を取り合っています。これは本当にすごいことだなと思います。

国際交流基金の助成によって、このような貴重な経験の数々を頂く機会を設けていただき、大変光栄に思います。